

神田外語大学 留学生別科

2026年 秋学期

科目概要

【必修科目】



目次

◆ [インターアクション](#)

(レベル1, 2, 3, 4, 5, 6, 7)・・・1～15ページ

◆ [文法](#)

(レベル1, 2, 3)・・・15～20ページ

◆ [文法読解](#)

(レベル4, 5, 6)・・・21～27ページ

◆ [読解作文](#)

(レベル1, 2, 3)・・・28～33ページ

◆ [アカデミックジャパニーズ](#)

(レベル4, 5, 6, 7)・・・34～41ページ

◆ [語彙漢字](#)

(レベル1, 2, 3, 4, 5, 6)・・・42～53ページ

レベル毎の必修科目

レベル	2コマ/週 (2単位)	2コマ/週 (2単位)	1コマ/週 (1単位)	1コマ/週 (1単位)
1	インターアクション1	文法1	読解作文1	語彙漢字1
2	インターアクション2	文法2	読解作文2	語彙漢字2
3	インターアクション3	文法3	読解作文3	語彙漢字3
4	インターアクション4	文法読解4	アカデミック ジャパニーズ4	語彙漢字4
5	インターアクション5	文法読解5	アカデミック ジャパニーズ5	語彙漢字5
6	インターアクション6	文法読解6	アカデミック ジャパニーズ6	語彙漢字6
7	インターアクション7	—	アカデミック ジャパニーズ7	(語彙漢字6) 選択科目として履修可

インターアクション1	加藤 林太郎	2単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		1-A 月曜日・木曜日1限 1-B 月曜日・木曜日2限

使用言語 日本語

授業時間 週2回(90 分×週 2回×15 週)

授業概要

学習者が遭遇するであろう日本語話者との接触場面で必要とされる、「言語能力」、「社会言語能力」、「社会文化能力」などを身につけ、場面に適した日本語の運用ができるようになることを目指したコースです。授業では、日本語を使ったインターアクションのための「理解」、「準備」と「練習」に加え、「実際使用」を促す日本語話者とのアクティビティ(パフォーマンス・アクティビティ/ PA)も取り入れます。

本クラスは、入門レベルの学生を対象とします。

学習内容(予定)

1. Introducing Myself
2. Making Our Dictionary
3. My Daily Life in Japan
4. Our Recommended Places
5. The Country of Our Dreams

教材

初級日本語とびら(1課～6課 予定)

オリジナル教材

成績評価

授業参加度(課題提出率) 20%

パフォーマンス・アクティビティ(PA) 40%

課題評価(教員評価+自己評価) 40%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

クラスには日本語のタイピングができるPCかタブレットを持ってくるください。

インターアクション2	田中 杏奈	2単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		2-A 火曜日・金曜日1限 2-B 火曜日・金曜日2限

使用言語 日本語

授業時間 週2回(90 分×週 2回×15 週)

授業概要

学習者が遭遇するであろう日本語話者との接触場面で必要とされる、「言語能力」、「社会言語能力」、「社会文化能力」などを身につけ、場面に適した日本語の運用ができるようになることを目指したコースです。授業では、日本語を使ったインターアクションのための「理解」、「準備」と「練習」に加え、「実際使用」を促す日本語話者とのアクティビティ(パフォーマンス・アクティビティ/ PA)も取り入れます。

本クラスは、初級を1/3程度終了したレベル(N5程度)の日本語能力を持つ学生を対象とします。日本語母語話者と交流することに慣れ、日常生活や大学生活における簡単なインターアクションができるようになることを目指します。授業では、これまで学習した文法が、いつどのような文脈で使えるかについて一緒に考え、実際の会話場面での運用につなげます。また、ペアワークやグループワークでの練習を多く行います。さらに、母語話者とのインターアクションを通して、自身のパフォーマンスをふりかえり、より実践的な能力を身につけます。

学習内容(予定)

1. 簡単な手紙やEメールを書く
2. 趣味や出身のおすすめなどについて、日本の大学生と会話する
3. 日本の大学生にインタビューする(例: 学生生活について)
4. 日本での思い出や日本の好きなところについて簡単なプレゼンテーションをする

※授業内容は受講人数等により変更される可能性があります。

授業は、学習内容のまとめとして行われるパフォーマンス・アクティビティ(PA)を目標に行われます。文型を使った会話練習も行いますが、同時にPAに便利な新しい表現や会話の戦略も学習します。練習はクラスメイトと一緒にいきますので、授業活動への積極的な参加を望みます。

PAでは、授業担当者が設定した目標のほか、履修者にとってやりがいのあるゴールを設定してもらいます。PAの間に履修者が録音／記録したデータを聞き直したり見返したりして、できたこと、できなかったことなどについて、詳しくふりかえりを行います。なお、録音・記録媒体やふりかえりシートは、提出してもらい授業担当者がチェックします。

教材

オリジナル教材

成績評価

授業参加度 20%

パフォーマンス・アクティビティ(PA) 40%

課題 40%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合や不完全のまま提出した場合は減点の対象となります。

授業には、Googleドキュメントやスプレッドシートが編集でき、日本語が打てるPCやタブレットを毎回持参してください。

AIやインターネットの使用は、教師が許可した場合に限ります。それ以外の使用は、減点の対象となります。

インターアクション3	ムティア クスマワティ	2単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		3-A 火曜日・金曜日1限 3-B 火曜日・金曜日2限

使用言語 日本語

授業時間 週2回(90 分×週 2回×15 週)

授業概要

学習者が遭遇するであろう日本語話者との接触場面で必要とされる、「言語能力」、「社会言語能力」、「社会文化能力」などを身につけ、場面に適した日本語の運用ができるようになることを目指したコースです。授業では、日本語を使ったインターアクションのための「理解」、「準備」と「練習」に加え、「実際使用」を促す日本語話者とのアクティビティ(パフォーマンス・アクティビティ/ PA)も取り入れます。

本クラスは、初級前半終了レベル(N4程度)の日本語能力を持つ学生を対象とします。

- 身近な話題について、会話相手のサポートも受けながら、情報や意見を交換したり、自分の気持ちを伝えたりできるようになることを目指します。
- 初級で学んだ言語知識を活用し、実際のコミュニケーション場面で使いこなす力を伸ばします。
- ある程度まとまった内容を表現したり、簡単な発表を行ったりする練習も取り入れ、伝える力を育てます。

学習内容(予定)

学期中、4～5つのトピックを学習する予定です。各トピックでは、必要な知識やスキルを身につけながら準備を進め、実際の日本語話者とのやりとりを含む「パフォーマンス・アクティビティ(PA)」を行います。PAには、会話、インタビュー、プレゼンテーションなどが含まれ、主に日本の大学

生がビジターとして参加します。PAのあとには、自分のパフォーマンスを振り返り、できたことや今後の課題について考える時間を設けます。なお、授業では、学生同士での練習や活動も多く行うため、積極的な参加が大切です。

トピックの例 ※学期によって異なります。

- 趣味や好きなことについて話す。
- 自分の国や町について紹介する。
- 興味のあるテーマについてアンケートをとり、その内容をまとめる。
- 自分が詳しいことやおすすめのことをテーマにし、大勢の前で発表する。
- 日本の生活情報を、やさしい日本語や自分の国の言葉で紹介するウェブサイトを作る。

教材

オリジナル教材

成績評価

授業参加度 20%

パフォーマンス・アクティビティ(PA) 40%

課題 40%

履修上の注意点

- 1) 課題作成における生成AIの使用は、必ず先生の指示に従ってください。文章をそのままコピーして提出した場合、不正行為と見なされます。
- 2) 課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。
- 3) 教材は、主にClassroomで配布します。授業には、必ず自分のノートPCかタブレットPCを持参してください。デバイスを持ってこなかった場合も、減点の対象となります。

インターアクション4	李 榮	2単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		4-A 月曜日・木曜日1限 4-B 月曜日・木曜日2限

使用言語 日本語

授業時間 週2回(90 分×週 2回×15 週)

授業概要

学習者が遭遇するであろう日本語話者との接触場面で必要とされる、「言語能力」、「社会言語能力」、「社会文化能力」などを身につけ、場面に適した日本語の運用ができるようになることを目指したコースです。授業では、日本語を使ったインターアクションのための「理解」、「準備」と「練習」に加え、「実際使用」を促す日本語話者とのアクティビティ(パフォーマンス・アクティビティ/ PA)も取り入れます。

本クラスは、初級終了レベル(N3程度)の学生を対象とします。

- 身近な話題について、やや長いやりとりができるようになることを目指します。相手の話を聞いたり、ある程度まとまった考えや自分の気持ちを伝えたりします。
- 相手や場面に応じたさまざまなスタイルの日本語を学習します。また、コミュニケーションをより円滑に進めるためのストラテジーを身につけます。
- クラスの仲間、日本の大学生や社会人、留学生の先輩など、さまざまな人たちとの活動を通し、社会や文化について考え、理解を深めます。
- やや抽象的な話題について考え、資料を作って発表し、自分の意見を伝える活動も行います。

学習内容(予定)

学期中、4～5つのトピックを学習する予定です。トピックごとに、必要な知識やスキルを身につけ、実際のコミュニケーション場面を経験する「パフォーマンス・アクティビティ/ PA」を行います。PAには、会話、ディスカッション、インタビュー、プレゼンテーション、チュートリアルなどが含まれます(日本の大学生や社会人、留学生の先輩などの日本語話者が、ビジターとして参加します)。また、PAのあとで、自分の学習の成果や過程を振り返ります。

トピックの例 ※学期によって異なります。

- 自分の専攻や大学について紹介し合う。
- 日本の大学生にインタビューし、その内容をまとめて発表する。
- グループで協力して、世の中を良くする新しいアプリを考案する。
- 自分の母語でよく使われるフレーズを、日本語で紹介する。
- 来日前の人のための多言語案内ページを作成し、他の留学生と共有する。
- 留学生生活を題材にしたVlog(ビデオブログ)を作る。
- 友達言葉で仲間とおしゃべりする。
- 丁寧な言葉を使って、目上の人と話してみる。

教材

オリジナル教材

成績評価

授業参加度 20%

パフォーマンス・アクティビティ(PA) 40%

課題 40%

履修上の注意点

1) 課題に取り組む際は、生成AIの使用に関する先生の指示を必ず守ってください。この科目の課題やPAは、自分で内容を考え、日本語を実際に使ってクラスの仲間やビジターとやりとりすることを通して、コミュニケーションに必要な力を身につけるための練習です。間違いのない完璧なものを作ることよりも、日本語を実際に使ってみる過程を大切にします。そのため、次のような生成AIの使用は禁止します。

- 課題やPAの内容やアイデアを、最初から生成AIに考えさせること

- 各活動で使う質問、発言、文章、原稿を、生成AIに作らせること
- 自分で作成した文章や原稿を、生成AIに書き直させること
- 生成AIが作成したものを、そのまま、または一部を修正して提出したり、PAで使用したりすること

話す内容や表現がよく分からないときも、まずは自分で考え、仲間や先生と話し合いながら、準備を進めてください。その後も分からないことが残った場合に限り、先生の指示に従って、生成AIの使用を限定的に認めることがあります。

生成AIを使用して作成したものを、自分が作成したものとして提出したり、PAで使用したりした場合は、不正行為と見なされます。生成AIを使用してよいか分からない場合は、使用する前に必ず先生に確認してください。

2) 課題の提出期限を必ず守ってください。提出が遅れた場合は、減点の対象となります。

3) 教材は、主にGoogle Classroomで配布します。授業では、配布された教材を見たり、課題やPAの準備をしたりするため、必ず自分のノートPCまたはタブレットPCを持参してください。ノートPCまたはタブレットPCは、この授業に必要なものですので、持参しなかった場合は、減点の対象となります。

インターアクション5	若月 理恵	2単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		火曜日・金曜日1限

使用言語 日本語

授業時間 週2回(90 分×週 2回×15 週)

授業概要

学習者が遭遇するであろう日本語話者との接触場面で必要とされる、「言語能力」、「社会言語能力」、「社会文化能力」などを身につけ、場面に適した日本語の運用ができるようになることを目指したコースです。授業では、日本語を使ったインターアクションのための「理解」、「準備」と「練習」に加え、「実際使用」を促す日本語話者とのアクティビティ(パフォーマンス・アクティビティ/ PA)も取り入れます。

本クラスは、中級前半終了レベル(N3～N2程度)の日本語能力を持つ学生を対象とします。コースを通じて、以下のことが達成できることを目指します。

- ❖ 自分の経験や意見を、簡潔にまとめて伝えることができる
- ❖ 会話の積極的な参加者となり、他の参加者と自然なコミュニケーションが取れる
- ❖ 他の会話参加者と交渉をしながら目標を立て、それを遂行することができる
- ❖ 身近かつ抽象的な事柄について、多角的に視野を持ち、意見を論理的に伝えることができる

学習内容(予定)

1. TPOを考える: 相手によってふさわしい話題やスピーチレベルを使い分ける。
2. イベント企画: イベントの企画・実施のために、話し合ったり、メモをとったりする。
3. カジュアルディベート: 比較的カジュアルかつ抽象的な事柄をテーマとして扱い、チームを組んでディベートのゲームをする。AREAの手法に則り、論理的に話す練習をする。

4. 問題解決型ディスカッション:幅広いテーマについて、自分からターンを取って論理的に意見を交わせるようになる。

教材

オリジナル教材(デジタルおよびハードコピーを配布する)

成績評価

授業参加度 20%

パフォーマンス・アクティビティ(PA) 40%

課題 40%

履修上の注意点

- ・課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。
- ・授業で使う資料はGoogle Classroomにて配布します。また、コミュニケーションにはSlackを使用します。授業には必ずノートPCかタブレットなどのデバイスを持参してください。スマホのみでの参加は推奨しません。

インターアクション6	加藤 林太郎	2単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		火曜日・金曜日2限

使用言語 日本語

授業時間 週2回(90 分×週 2回×15 週)

授業概要

この授業では、みなさんがこれまで身に着けてきた、あるいは今学期身に着ける日本語を使って、4つのタスクに挑戦します。それぞれのタスクは、実際に日本社会で生活している人たちとの対話を通して行います。そのため、タスクの達成には日本語の言語能力だけではなく、社会言語能力や社会文化能力も必要になります。

本クラスは、日本語中級修了～上級前半(N2～N1程度)の学生を対象とします。

到達目標

○言語能力

自分が言いたいことを諦めたり、短くしたりしないで、十分に伝えることができる。

○社会言語能力

会話の参加者と対等かつ適切な関係で話し続けられる。

○社会文化能力

参加者それぞれに配慮しながら、会話がスムーズに進むように協力できる。

学習内容(予定)

以下のトピックについて、場面や目的、相手との関係に合ったコミュニケーションについて考え、実際に近い場面でやってみて、最後にふり返りを行います。これらを繰り返し行うことで、社会の中で自分を語ったり、行動したりするための日本語を学習します。

<トピックの例>

1. ビブリオバトルをしよう
2. 学内の環境を改善するためのアイデアを提案しよう
3. ヒューマンライブラリーで「人生の転機」を語り合おう
4. 「共生するまちづくり」についてのワークショップを開こう

教材

オリジナル教材

成績評価

授業参加度 20%

パフォーマンス・アクティビティ(PA) 40%

課題 40%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

課題は、主にClassroomで配布します。授業には、必ず自分のノートPCかタブレットPCを持参してください。

インターアクション7	中村 栞	2単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		月曜日・木曜日2限

使用言語 日本語

授業時間 週2回(90 分×週 2回×15 週)

授業概要

学習者が遭遇するであろう日本語話者との接触場面で必要とされる、「言語能力」、「社会言語能力」、「社会文化能力」などを身につけ、場面に適した日本語の運用ができるようになることを目指したコースです。授業では、日本語を使ったインターアクションのための「理解」、「準備」と「練習」に加え、「実際使用」を促す日本語話者とのアクティビティ(パフォーマンス・アクティビティ/ PA)も取り入れます。

本クラスは、上級レベル(N1程度、B2～C1程度)の日本語能力を持つ学生を対象とします。

到達目標

- ・丁寧で間接的な話し方や、感情表現を含む親しさを示す話し方など、幅広い表現方法を相手や場面に応じて柔軟にかつ効果的に使い分けながら自然なコミュニケーションができる。
- ・相互理解を深めるために、複雑な意見や感情を詳しく正確に伝え合うことができる。
- ・自分の専門分野以外でも、一般的、学術的、または余暇に関する幅広い話題について抽象的で複雑な話も理解することができる。また、自分の専門分野やよく知っていることがらについて、専門外の人にもわかりやすく説明できる。
- ・論拠を示しながら自分の立場や見解を多角的に詳しく表現できる。また、説得力をもって議論の道筋を提示し、複雑な筋立ての反対意見にも、適切に対応することができる。

学習内容(予定)

1. 自分の価値観を伝える自己紹介
2. 自国の就職活動やキャリアに関する問題について発表と意見交換
3. フォーマルなメールのやりとり
4. 興味があることについてディスカッション
5. インタビューと発表
6. 社会人に人生相談をする
7. クラスのウェブサイトを作る

※活動内容は変更する場合があります。

教材

オリジナル教材

生教材

成績評価

授業参加度 20%

パフォーマンス・アクティビティ(PA) 40%

課題 40%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

授業には、必ず自分のノートPCかタブレットPCを持参してください。

文法1	上原 由美子	2単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		1-A 火曜日・金曜日1限 1-B 火曜日・金曜日2限

使用言語 日本語

授業時間 週2回(90 分×週 2回×15 週)

授業概要

教材を使って体系的に文型を学習し、インターアクションに必要な「言語能力」の習得を目指します。文法の知識だけでなく、運用能力も伸ばすことを目的とします。

学習内容(予定)

教材の第1課～第5課を中心に学習します。

到達目標は以下の通り。

- ・ひらがな・カタカナの読み書き、基本的な文の構造、数の数え方、動詞の活用、過去形、形容詞、疑問文の作り方、肯定文・否定文、依頼表現などを理解し、使えるようになる。
- ・日常生活(家庭、KUIS、地域社会など)で使われる基本的な表現を使えるようになる。
- ・あいさつを交わしたり、質問をしたり、日常生活に役立つ情報を得たりすることで、他者とコミュニケーションができるようになる。

教科書

『初級日本語 とびら I 』くろしお出版

成績評価

授業参加度 20%

クイズ 30%

課題 20%

定期試験(中間・期末) 30%

履修上の注意点

- ・課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。
- ・教科書とPCを持参すること。

文法2	ムティア クスマワティ	2単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		2-A 月曜日・木曜日1限 2-B 月曜日・木曜日2限

使用言語 日本語

授業時間 週2回(90 分×週 2回×15 週)

授業概要

教材を使って体系的に文型を学習し、インターアクションに必要な「言語能力」の習得を目指します。文法の知識だけでなく、運用能力も伸ばすことを目的とします。

学習内容(予定)

- ・教材の6課から11課を学習する予定です。
- ・初級前半の文法を勉強します。動詞や形容詞の基本的な活用や、簡単な複文などを勉強して、日本語の言語能力の基礎を作ります。また、語彙や表現も勉強します。そして、習った文法表現を実際の場面で使えるようになることを目指します。

教科書

『初級日本語 とびら I 』くろしお出版

成績評価

授業参加度 20%

クイズ(文法 20%・ことば 10%) 30%

課題 20%

定期試験(中間 15%・期末 15%) 30%

履修上の注意点

- ・課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。
- ・教科書を持ってこなかった場合、授業への参加度の減点対象となります。

文法3	安部 智恵子	2単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		3-A 月曜日・木曜日1限 3-B 月曜日・木曜日2限

使用言語 日本語

授業時間 週2回(90 分×週 2回×15 週)

授業概要

教材を使って体系的に文型を学習し、インターアクションに必要な「言語能力」の習得を目指します。文法の知識だけでなく、運用能力も伸ばすことを目的とします。

学習内容(予定)

教材の11課から18課を学習する予定です。

教科書

『初級日本語 とびらⅡ』くろしお出版

成績評価

授業参加度 20%

クイズ(単語10%・文法20%) 30%

課題 20%

定期試験(中間15%・期末15%) 30%

履修上の注意点

- 1) 課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。
- 2) 教科書を持ってこなかった場合は減点の対象となります。

文法読解4	中村 栞	2単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		4-A 火曜日・金曜日1限 4-B 火曜日・金曜日2限

使用言語 日本語

授業時間 週2回(90 分×週 2回×15 週)

授業概要

日本語の文型や文法、表現を、教材を使って体系的に学習します。具体的には、既習の語彙や文型、表現を確実に使えるようになるとともに、教材の中に出てくる新しい語彙や文型、表現を理解し、会話や作文で使えるようになることを目指します。また、教材の読み物の読解を通して、日本社会の文化や思想、習慣、歴史などについての理解も深めます。

学習内容(予定)

・文法

中級前半レベルの文型やことばを学んで、初級よりも幅広い話題や内容についての確に表現できるようになることを目指します。

・読解

教科書の文章を基に、日本社会の文化や習慣などを学び、それを他の人に伝えられるようになることを目指します。

・課題

文法：学習した文型を用いて、自分の文脈に合わせた文を作ります。

読解：教科書の文章を読み、それに対する意見を書いたり、自分のよく知っているシチュエーションに置き換えて話し合ったりします。

教科書

『4技能でひろがる 中級日本語カルテット I』ジャパンタイムズ

成績評価

授業参加度(課題提出率＋自己評価) 40%

課題評価 20%

定期試験(中間・期末) 40%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

授業には必ずノートPCかタブレットを持ってくるください。

文法読解5	高橋 優美	2単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		月曜日・木曜日2限

使用言語 日本語

授業時間 週2回(90 分×週 2回×15 週)

授業概要

日本語の文型や文法、表現を、教材を使って体系的に学習します。具体的には、既習の語彙や文型、表現を確実に使えるようになるとともに、教材の中に出てくる新しい語彙や文型、表現を理解し、会話や作文で使えるようになることを目指します。また、教材の読み物の読解を通して、日本社会の文化や思想、習慣、歴史などについての理解も深めます。

学習内容(予定)

- 読解: 経験談やインタビュー記事、小説や調査報告書などを読み、話の流れや著者の考えを理解し、自分の経験や考え方を深め、読解力や語彙力、表現力を伸ばすことを目指します。
- 文法: 中級後半レベル(N2～N1レベル)の文法を学び、既習文法との共通点や相違点、ニュアンスの違いを理解し、話したり書いたりできるようになることを目指します。

教科書

『4技能でひろがる 中級日本語カルテットⅡ』ジャパントイムズ

成績評価

授業参加度 20%

クイズ 30%

課題 20%

定期試験(中間・期末) 30%

履修上の注意点

- 1) 課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。
- 2) クイズやテストには、必ず自分のノートPCかタブレットを持参してください。
google classroomで行います。
- 3) 読解は予習してきてください。授業では予習済みを前提として授業を進めます。
予習してこなかった場合、減点の対象となります。
- 4) 教科書を持ってこなかった場合、減点の対象となります。

文法読解6	李 榮	2単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		火曜日・金曜日1限

使用言語 日本語

授業時間 週2回(90 分×週 2回×15 週)

授業概要

日本語の文型や文法、表現を、教材を使って体系的に学習します。具体的には、既習の語彙や文型、表現を確実に使えるようになるとともに、教材の中に出てくる新しい語彙や文型、表現を理解し、会話や作文で使えるようになることを目指します。また、教材の読み物の読解を通して、日本社会の文化や思想、習慣、歴史などについての理解も深めます。

学習内容(予定)

上級レベルで求められる知識の定着を目標として、教科書の第1課～第11課を中心に勉強します。授業は、以下のような流れで進めます。

- 1)教科書の【語句リスト】を活用して学習を行います。授業の前に、必ず読み方や意味を予習してきてください。特に重要な語句については、授業中にその意味を日本語で説明し、例文を作成するタスクを課します。
- 2)教科書の【読むための文法】およびその類似文型を学習します。教科書の練習問題に加え、Google Classroomで配布する教材を用い、文法の運用力を定着させます。
- 3)教科書の【構造】を通じて、日本語による論理の展開を理解し、読解ストラテジーを工夫します。その後、ピアリーディングを行い、仲間と共に文章の内容理解を深めます。さらに、再話やメインアイデアの抽出などの課題を通して理解度を確認します。
- 4)毎回課題があります。課題未提出の場合、クラスワークには参加できません。

※「文法読解6」は、JLPT対策の授業ではありません。

教科書

『改訂版 大学・大学院留学生の日本語 ①読解編』アルク

成績評価

授業参加度 20%

課題 20%

クイズ 30%

定期試験(中間・期末) 30%

履修上の注意点

1) 課題に取り組む際は、生成AIの使用に関する先生の指示を必ず守ってください。この科目の課題は、これまでに学んだ語彙や文型、表現を確認するとともに、新しく学ぶ語彙や文型、表現を理解し、より正確かつ流ちょうに使えるようにするための練習です。また、自分で読み物を読み、内容を理解することを通して、「読む力」を身につけます。間違いのない完璧なものを提出することが目的ではありません。そのため、次のような生成AIの使用は禁止します。

- 語彙や文型、表現の意味や使い方を、最初から生成AIに説明させること
- 課題で使用する例文を、生成AIに作らせること
- 文法の練習問題や課題の答えを、生成AIに考えさせること
- 読解課題の読み物を、最初から生成AIに読ませること
- 読み物の内容や設問への答えを、生成AIに説明させること
- 読んだ内容を、生成AIにまとめさせたり、再話させたりすること
- 生成AIが作成した文章や答えを、そのまま、または一部を修正して提出すること

語句や文法の使い方、読み物の内容がよく分からないときも、まずは自分で考え、授業で仲間や先生と話し合いながら、理解を深めてください。その後も分からないことが残った場合に限り、先生の指示に従って、生成AIの使用を限定的に認めることがあります。

生成AIを使用して作成した文章や答えを、自分が作成したものとして提出した場合は、不正行為と見なされます。生成AIを使用してよいか分からない場合は、使用する前に必ず先生に確認してください。

2) 課題の提出期限を必ず守ってください。提出が遅れた場合は、減点の対象となります。また、課題を提出していない場合は、クラスワークに参加できません。

3)授業では教科書に加えて、先生が作成した配布物も使います。配布物は、主にGoogle Classroomで配布します。配布物を見たり、課題に取り組んだりするため、必ず自分のノートPCまたはタブレットPCを持参してください。教科書とデバイスは、いずれもこの授業に必要なものですので、持参しなかった場合は、それぞれ減点の対象となります。

読解作文1	金 銀 姫	1単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		木曜日3限

使用言語 日本語

授業時間 週1回(90 分×週 1回×15 週)

授業概要

読み書きの相互作用を通して言語運用能力を高めることを目的とします。

文型・語彙・表現の理解と活用を促し、適切な書きことばの定着を目指します。

学習内容(予定)

読解では、身近なトピックの短い文章を読みます。

作文では、日常生活や身の回りのことに関する短い文章を書きます。

教科書1～4課の読解作文パートを扱い、「自己紹介」「大学の生活」「いちばのツアー」「日本語でグルメレポート」などのテーマについて学習する。

※授業内容は変更する可能性があります。

教材

『初級日本語 とびら I 』くろしお出版 ※文法1と同じ教科書を使います

成績評価

授業参加度 20%

課題 50%

定期試験 30%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

日本語が入力できるPCかタブレットを持参してください。

課題等含め、AIの使用は教師が指示した場合に限ります。それ以外の使用は減点の対象となります。

読解作文2	金 銀 姫	1単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		2-A 木曜日2限 2-B 木曜日4限

使用言語 日本語

授業時間 週1回(90 分×週 1回×15 週)

授業概要

読み書きの相互作用を通して言語運用能力を高めることを目的とします。

文型・語彙・表現の理解と活用を促し、適切な書きことばの定着を目指します。

学習内容(予定)

書かれている内容が正しく理解できるようになることを目標として、初級レベルのさまざまなタイプの読み物を読みます。そして、読んだものから得た知識を用いて、まとまりのある文章を書く練習をします。読み物や作文のトピックは、例えば「私の部屋」、「日本の妖怪」、「日本のプレゼントの習慣」、「メールのやりとり」、「日本の温泉」、「観光地の紹介」、「ネズミの結婚」などを扱います。

教材

『初級日本語 とびら I 』くろしお出版 ※文法2と同じ教科書を使います

成績評価

授業参加度 20%

課題 50%

定期試験(中間・期末) 30%

履修上の注意点

課題は、主にClassroomで配布します。課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

授業には、必ず自分のノートPCかタブレットPCを持参してください。

教科書やノートPCを持参しない場合、減点対象となります。

課題等含め、AIの使用は教師が指示した場合に限ります。それ以外の使用は減点の対象となります。

読解作文3	3-A 大森 優 3-B 高橋 優美	1単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		3-A 火曜日3限 3-B 木曜日1限

使用言語 日本語

授業時間 週1回(90 分×週 1回×15 週)

授業概要

読み書きの相互作用を通して言語運用能力を高めることを目的とします。

文型・語彙・表現の理解と活用を促し、適切な書きことばの定着を目指します。

学習内容(予定)

読解では、身近なトピックや日本の文化についての短い簡単な文章を読みます。(例:日本の祭り、お化けやしき、悩み相談、日本のこれにびっくりなど)

作文では、身近なトピックや自分の経験について、構成を考えて簡単な文章(400-600字程度)を書きます。(例:私の国の祭り、ありがとうのメッセージ/メール、私の国のすごいもの、旅行の思い出、物語など)

教科書

『初級日本語 とびらⅡ』くろしお出版 ※文法3と同じ教科書を使います

成績評価

授業参加度 20%

課題 50%

定期試験 30%

履修上の注意点

- 1) 課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。
- 2) 教科書以外の教材は、主にClassroomで配布します。授業には、必ず自分のノートPCかタブレットPCを持参してください。
- 3) 教科書とデバイスを持ってこなかった場合、両方とも減点の対象となります。

アカデミック ジャパニーズ4	4-A 若松 由美 4-B アキバリ・フォーリエ	1単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		木曜日3限

使用言語 日本語

授業時間 週1回(90 分×週 1回×15 週)

授業概要

「書く」ことを中心に、「読む」「話す」「聞く」を含めた活動を通じて論理的・批判的思考力を深め、アカデミックな文章を作成する能力の向上を目指します。

学習内容(予定)

「読み手に伝わる文章」が書けることを目標に、以下の内容で学習を進めます。

- 1) 日本語で文章を書くときの「基本的なルール」を学びます。
- 2) モデルになる文章を読み、ディスカッションを通して内容理解を深めます。
そして、読み物から得た知識を活用して、説明文や意見文を書きます。
- 3) 書いた文章をクラスの仲間と話し合いながら読み、「もっとよい文章」にする方法を考え、書き直します。
- 4) 学期の最後には、興味のあるテーマについて、自分で調べた資料を使って短い報告文を書き、発表します。

教材

授業で配布、紹介します。

※参考書

『おしゃべりしながら書くことを楽しむ中級作文』杉浦千里・木戸光子著 凡人社

成績評価

授業参加度 20%

課題Ⅰ 50%

課題Ⅱ 30%

履修上の注意点

- 1) 課題作成における生成AIの使用は、必ず先生の指示に従ってください。文章をそのままコピーして提出した場合、不正行為と見なされます。
- 2) 課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。
- 3) 課題は、主にClassroomで配布します。授業には、必ず自分のノートPCかタブレットPCを持参してください。

アカデミック ジャパニーズ5	加藤 林太郎	1単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		木曜日3限

使用言語 日本語

授業時間 週1回(90 分×週 1回×15 週)

授業概要

「書く」ことを中心に、「読む」「話す」「聞く」を含めた活動を通じて論理的・批判的思考力を深め、アカデミックな文章を作成する能力の向上を目指します。

学習内容(予定)

新しい情報や知識を獲得するための読み方、理解して考えた内容をまとめて表現する書き方を学習します。具体的には、大学での豊かな学びに繋がることを期待し、以下の内容を扱います。

- 1) 目的に応じた読み、クリティカル・リーディング
説得力のある書き方、パラグラフ・ライティング
- 2) レポートや論文に相応しい文体
- 3) 情報収集や整理について
文献引用の仕方と文献リストの書き方
- 4) 体裁を整える
- 5) 推敲の重要性

教材

授業で配布、紹介します。

※参考書

『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』伊集院郁子・高野愛子著 アスク

成績評価

授業参加度 20%

課題 50%

最終課題 30%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

課題は、主にClassroomで配布します。

授業には、必ず自分のノートPCかタブレットPCを持参してください。

ノートPCやタブレットPCを持参しない場合、減点対象となります。

アカデミック ジャパニーズ6	高橋 優美	1単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		月曜日1限

使用言語 日本語

授業時間 週1回(90 分×週 1回×15 週)

授業概要

「書く」ことを中心に、「読む」「話す」「聞く」を含めた活動を通じて論理的・批判的思考力を深め、アカデミックな文章を作成する能力の向上を目指します。

学習内容(予定)

アカデミックライティング表現やレポートを書く上で誤りやすい表現や文法を学びます。クラスで一学期間通して同じテーマを扱いますが、各自が問題提起して最終レポートを書くために、授業は主に次のようなことを行います。

- ・書き言葉の文体と表現
- ・データのまとめ方
- ・参考文献の要約
- ・参考文献の引用の仕方
- ・考察の書き方

教材

授業で配布、紹介します。

成績評価

授業参加度 20%

課題 50% (ルーブリックをよく読み、取り組んでください)

最終課題 30%

履修上の注意点

- 1) 課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。
- 2) 授業には、必ず自分のノートPCかタブレットなどのデバイスを持ってくる。忘れた場合は減点の対象となります。

アカデミック ジャパニーズ7	小林 久美子	1単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		月曜日1限

使用言語 日本語

授業時間 週1回(90 分×週 1回×15 週)

授業概要

「書く」ことを中心に、「読む」「話す」「聞く」を含めた活動を通じて論理的・批判的思考力を深め、アカデミックな文章を作成する能力の向上を目指します。

学習内容(予定)

授業は次のような流れで進行します。

- ①テーマの確認と、資料検索
- ②グループディスカッション
- ③プレゼンテーションとディスカッション

※KUIS生または社会人をビジターとして招く予定です。

- ④レポート作成

教材

授業で配布、紹介します。また、毎時間ノートパソコンを持ってきてください。

成績評価

・授業参加度 40%

授業態度15%(授業中のシートへの記入も含む)

課題提出率25%(予習ワークシート、レポート&自己評価シート、各2回)

・課題評価 60%

内容について評価する

(予習ワークシート20%、プレゼンテーション20%、レポート20%、各2回)

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

語彙漢字1	田中 杏奈	1単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		1-A 木曜日2限 1-B 木曜日1限

使用言語 日本語

授業時間 週1回(90 分×週 1回×15 週)

授業概要

語彙を増やし、言語運用能力を高めることを目指します。また、漢字に関する知識を体系的に学びます。日常生活における漢字語彙の理解やデジタル機器への入力、変換、選択が正しくできるスキルも身に着けます。

学習内容(予定)

初級レベル(日本語能力試験N5相当)の漢字67字とその関連語彙が読めて、使えるようになることを目標とします。教科書のLesson1～Lesson6を中心に勉強します。

教科書

『初級日本語 とびら I 』くろしお出版 ※文法1と同じ教科書を使います。

成績評価

授業参加度 20%

課題 20%

クイズ 30%

定期試験(中間・期末) 30%

履修上の注意点

- 1) 課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。
- 2) 授業には、教科書・配布された漢字ノート・PCまたはタブレットを持参してください。持っていない場合、減点の対象となります。
- 3) クラスメイトとの協働作業において、積極的な参加が望まれます。

語彙漢字2	2-A 若松 由美 2-B 金 銀姫	1単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		2-A 火曜日2限 2-B 金曜日3限

使用言語 日本語

授業時間 週1回(90 分×週 1回×15 週)

授業概要

語彙を増やし、言語運用能力を高めることを目指します。また、漢字に関する知識を体系的に学びます。日常生活における漢字語彙の理解やデジタル機器への入力、変換、選択が正しくできるスキルも身に着けます。

学習内容(予定)

基礎的な漢字の読み書きを身につけます。また、部首や漢字の音符、意符の知識を増やします。N4～N5の語彙の定着も目指します。

教科書

『初級日本語 とびら I 』くろしお出版 ※文法2と同じ教科書を使います。

成績評価

授業参加度 20%

クイズ 20%

課題 30%

定期試験(中間・期末) 30%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

課題は、主にClassroomで配布します。授業には、必ず自分のノートPCかタブレットPCを持参してください。

語彙漢字3	3-A 金 銀姫 3-B 中村 栞	1単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		3-A 金曜日2限 3-B 金曜日3限

使用言語 日本語

授業時間 週1回(90 分×週 1回×15 週)

授業概要

語彙を増やし、言語運用能力を高めることを目指します。また、漢字に関する知識を体系的に学びます。日常生活における漢字語彙の理解やデジタル機器への入力、変換、選択が正しくできるスキルも身に着けます。

学習内容(予定)

日本語能力試験N4・N3相当の漢字やことばの使い方を書く・読む・聞く・話す技能を使って練習します。

到達目標

1. 初級後半レベルの語彙・漢字を読む、書く、意味を理解することができる。
2. 読み方を正しく入力して、正しい漢字を選ぶことができる。
3. 勉強した語彙・漢字を会話や作文で使うことができる。
4. 文脈の中で、知らない語彙・漢字の意味を推測することができる。
5. 生活の中で出会う語彙・漢字を自律的に勉強できるようになる。

教科書

『初級日本語 とびらⅡ』くろしお出版 ※文法3と同じ教科書を使います。

成績評価

授業参加度 20%

クイズ 20%

課題 30%

アクティビティ 10%

定期試験 20%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

語彙漢字4	4-A 高橋 優美 4-B 小林 久美子	1単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		4-A 金曜日2限 4-B 水曜日1限

使用言語 日本語

授業時間 週1回(90 分×週 1回×15 週)

授業概要

語彙を増やし、言語運用能力を高めることを目指します。また、漢字に関する知識を体系的に学びます。日常生活における漢字語彙の理解やデジタル機器への入力、変換、選択が正しくできるスキルも身に着けます。

学習内容(予定)

- ①JLPTのN4～N3レベルの語彙・漢字を増やす。
- ②漢字に関する知識を体系的に学ぶ。
- ③日常生活における漢字語彙の理解やデジタル機器への入力、変換、選択が正しくできるスキルを身に着ける。
- ④語彙・漢字学習を一人でもできる力をつける。

教科書

『4技能でひろがる 中級日本語カルテット I』ジャパントイムズ

※文法読解4と同じ教科書を使います。

成績評価

授業参加度 20%

クイズ 20%

課題 30%

定期試験(中間・期末テスト) 30%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

語彙漢字5	小林 久美子	1単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		水曜日2限

使用言語 日本語

授業時間 週1回(90 分×週 1回×15 週)

授業概要

語彙を増やし、言語運用能力を高めることを目指します。また、漢字に関する知識を体系的に学びます。日常生活における漢字語彙の理解やデジタル機器への入力、変換、選択が正しくできるスキルも身に着けます。

学習内容(予定)

日本語能力試験N3・N2相当の漢字やことばの使い方を学習します。デジタル社会のニーズに合わせ、同音異義語を正しく選択・使い分けができることを目指します。

教科書

『4技能でひろがる 中級日本語カルテットⅡ』ジャパンタイムズ

※文法読解5と同じ教科書を使います。

成績評価

授業参加度 20%

クイズ 20%

課題 30%

定期試験(中間・期末) 30%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

語彙漢字6	若松 由美	1単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		6-A 火曜日3限 6-B 木曜日2限

使用言語 日本語

授業時間 週1回(90 分×週 1回×15 週)

授業概要

語彙を増やし、言語運用能力を高めることを目指します。また、漢字に関する知識を体系的に学びます。日常生活における漢字語彙の理解やデジタル機器への入力、変換、選択が正しくできるスキルも身に着けます。

学習内容(予定)

中上級レベルの漢字(N1～N2)を学習する。

【教科書学習の流れ】

- ①覚えましょう(基本的な読み方・意味・重要語彙)
- ②確認しましょう(漢字の読み)
- ③考えましょう(おもしろい読みや意味のことば、基本義と派生義、コロケーション、類義語の使い分け、生教材)
- ④おまけ(漢字の書き)＊基礎漢字の復習中心

教科書

『上級・超級日本語学習者のための考える漢字・語彙 超級編』ココ出版

成績評価

授業参加度 20%

課題 30%

クイズ 20%

定期試験 30%

履修上の注意点

課題の提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となります。

課題は、主にClassroomで配布します。授業には、必ず自分のノートPCかタブレットPCを持参してください。

2026年度 神田外語大学留学生別科 科目概要 必修科目

2026年8月発行

編集・発行 神田外語大学留学生別科

〒261-0014 千葉県美浜区若葉1-4-1

無断転載を禁じます